

# 岡山での研修

(中国 李 斐)

中国の江西省と日本の岡山県の友好交流の促進のため、岡山県県民生活部国際課の招待を受け、江西省の外務担当課の勧めもあり、私は光栄にも岡山県で海外技術研修員として 2019 年 9 月から 11 月の終わりまで三か月間研修する機会を得た。

取り決めにより、2019 年 9 月 3 日に私は岡山に降り立ち、3 か月間の研修生活を始めた。岡山県県民生活部国際課、岡山県国際交流協会そして岡山商科大学が豊かな研修を企画してくれて、色々な面会の機会を用意してくれた。最初の月は、岡山県国際交流協会がオリエンテーションと日本語研修を実施した。その後、岡山商科大学で 2 か月間の経営管理コースの研修に入り、先生たちによる生き生きとした素晴らしい講義をしてくれた。また、岡山県知事と交流をしたり、日本の自然風景、建築物や人情味を堪能する研修旅行に連れ出してもらった。

研修も終わりとなり、とりわけ悲しい気持ちだ。この研修は日本の文化と暮らしぶりを経験する素晴らしいを与えてくれた。

## 1. 日々の暮らしに息づく文明

三か月の研修期間中、私は主に日本の文明的な振舞い方に感心した。日本では、日常のちょっとした問い合わせから買い物でさえ、人々はお互いに礼儀正しく接し合う。大学内の先生や学生も温かい笑顔で互いに挨拶を交わし、日本語研修の先生は中秋節の手紙と趣味で作った梅のソースを送ってくれた。それらのことは特に外国人として暮らす身にはとても癒されるものだった。

中国には「故郷では好きなように振舞いなさい」という諺がある。日本の生活習慣は中国のそれとはまったく違う。日本での研修生活にできるだけ早く馴染むために、岡山到着初日、伊原氏と小田氏が学習や生活の環境に私を

慣れさせるため色々な場所に連れて行ってくれ、生活必需品の購入や注文の仕方を教えてくれた。少しずつ、私は丁重に受け入れられた。

第一週から、担当の小田氏が9月のオリエンテーションのスケジュールを組んだ。導入研修として集合的な寮の規則説明、交通ルールや防災知識を学んだ。我々は日本のごみ分別は世界でもトップレベルのものだと知っていた。これは本当に他国から学ぶ価値のあることです。素晴らしいごみ分別に加えて、交通ルールも印象深く、日本の交通機関の流儀は中国のそれと反対で、中国では右側通行であるところを日本は左側であり、慣れるのに時間がかかった。日本の自転車のルールもまた非常に厳しく、車両の運転と同じように、逆走や赤信号での走行、また走行中の電話の応答はおろか並走でさえも安全講習の受講や他の対象となってしまう。このことに人々がきちんと従っていることに驚き、安全への意識の高さの反映だけでなく、国民性の良さが具体化したものでもある。

## 2. 日本語研修のオフィスは真実

楽しみでもあり心配でもあった OJC の1対1の日本語研修を3週間受けた。たくさんの日本語教師と出会えたことが嬉しく、そして先生方は皆かなり友好的であった。これまで日本語を学んだことがなかったので、基礎がしっかりしていないことが心配だった。



しかし、二日も経つと私の心配は少しずつ消えていった。先生たちの教授法は歌ったり踊ったり、またカードを使ったりしてよく工夫されており易しく楽しく学ぶことができた。



岩田先生と難波先生、そして浦上先生が印象的だった。岩田先生は私の父くらいの年齢だ。私に会う時、先生はいつもとても優しい。終始温かい笑顔で教えてくれる。

難波先生は中国語が話せる日本語教師で、中国が大好きで、中国語を学んでおり、中国語話者が安心して日本語を学べるようにとしばしば中国を訪れては語学研修に参加する。

初心者向けの日本語学習のウェブサイトを教えてくれた。それだけにとどまらず日本の麺料理やコーヒーに誘ってくれて、食事に関する日本語をどのように身につけるかや、自転車でショッピングモールまで行き、どのように手ごろな値段の物を買うか、駐輪のやり方は、など色々と教えてくれた。私の休暇中も日本語の学習ができるように、日本語講座に通ったり町探検することも進められた。

浦上先生は OJC の代表で 75 歳の年配の女性だ。最後の二日間は彼女が日本語の指導をしてくれた。浦上先生はとても面白い。中国語も英語も話すことは許されなかった。気分転換に授業ごとに階段の上り下りをしながら場所の発音と単語を学んだ。振り返ってみると、彼女は今もなお優しい微笑みを湛えている。

OJC での日本語研修はあっという間で充実していた。初心者としての学習にも関わらず、この日本語研修は初対面での自己紹介、道を尋ねるとき、日常の些細な買い物や食事、山登りの間の見知らぬ人々との挨拶、日本のあらゆる駅での情報デスクでの質問など、私の日本での生活のよい基盤となった。日本語が話せないひとりの外国人である私に、話をしたり旅をする勇気を与えてくれた。



OJC のたくさんの良い先生に出会えて私は幸運だった。日本語だけでなく、物事をするときの態度や活動に取り組むときの熱心さを教えてくれた。先生の多くは年配の退職者であるが、その真剣な態度と献身的な仕事ぶりは驚くべきものであり、見習うに値する。今後の人生で困難に出会ったとき、前向きで楽観的な姿勢でいることを思い出させてくれるであろう。

### 3. 専門研修機関での経験

10月から11月まで、8週間を岡山商科大学で過ごした。きちんと美しいキャンパスの環境、静かな図書館、完璧な設備が私を異国の学術の森の文化にどっぷりと浸らせ、若い学生だった頃に戻ったかのような感覚になったことが素晴らしかった。初日に本学に



到着した際、学長を表敬訪問したことを思い出す。本学の状況として、6年連続で外国人学生の卒業試験のレベルが高く、そのことは学長の誇りであると説明し、私に思う通りに学んでほしいと話した。私はきっとそうできるだろうと確信した。私はここで多くを学んだ。





于琳先生は岡山商科大学の知識が豊富な先生で、初めて会った時からとても優しくかった。彼女は私のために 8 週間分の研修コースと課外活動を組んでくれた。また、長田先生、渡邊先生の二人とも出会った。

専門研修の「岡山経営者論Ⅱ」は非常に興味深いものだった。授業のたびに岡山の起業家を呼び、それは中国の学術フォーラムと同じだが、いくつか違う点があり、学生の席が決められていて、「是正思考」と広い視野の

精神を養うものであった。社会に貢献するような人物とは、業界の様子に注意を払い、文化の知識があり、社会の発展に創造的に貢献する人材を育てあげる人である。起業家はその達成をその分野の仕事に結びつけ、その経営理論、経



営実践を学生たちに学ばせ、有効な方策を身につけさせる。そのため、隔週でグループディスカッションをして学生たちをステージにあげて意見を発表させた。一度、光栄にも私は 2020 年の大学の活動の広告リンクページのデザインに向けたグループディスカッションに呼ばれた。デザインのテーマ、副テーマ、次に続く活動へのリンクについて話し合った。学生との話し合いを通じて、私は教科書には書かれていない事を学んだ。

専門研修では、3 人の先生による「研究演習」があり、それは中国の授業とは違っていた。実に、小規模でありながら相互に作用する学びだった。そのコースの知識をもとに学生は皆に説明をし、自身の見解を述べた。それはクラスの雰囲気上げるだけでなく、先生や学生を惹きつけており、非常に面白かった。

簡単な教え方は深く印象に残った。一度、渡邊先生がたくさんの食べ物を

買ってきたことがあった。それは同じブランドながら中国産と日本産とがあった。学生たちは試食してその違いを探った。私も味見して色や味わいのかすかな違いを感じパッケージも違うと感じた。この教えの目的は学生たちに簡単に体験させることだった。この環境で、食品とパッケージの違いを観察することは、それぞれ違った材料を使う各地域に、その地域の住民に受け入れられるような食べ物を開発するような、地域に寄り添ったマーケティングへ誘う。

教え方の流儀の相違は印象的なものだった。ある日、于先生の授業が半分で終わった。その時、学生たちが帰る身支度をするのを見た。于先生に今はまだ終業の時間ではないのになぜかと尋ねると、学生たちはスピーチの準備ができていないので授業を続行できない、だから終わり、と于先生は答えた。それは中国ではありえない事なので心底驚き、私は学生たちに成績を「普通」にするなど何かとがめはあるのか尋ねたりした。この事は、二国間の教育理論が違うということを私に知らしめる出来事だった。

長田先生はアメリカのジャーナリストであり非常に博識な先生だ。講義の時は私の隣に中国人の学生を通訳として座らせ、彼はまた私が内容を理解したいのを心得ており特別に英語を使って講義をしてくれることが度々あった。心理学、脳科学、経営科学を導入して、AI 時代の人類の存在意義について熟考していた。



8週間の専門研修で、于先生の素晴らしいクラスや、ユーモアあふれる渡邊先生のリラックスした楽しいクラス、また経験に裏打ちされた価値あるコメントがある長田先生の講義が、学生たちにより現実に即した業界や企業の様子を伝え、就職活動に必要な知識と情報を与えていた。この講義は知識だけでなく、「私立大学の教授」として、互いに構築しあう思考生活だったと感じ、先生と学生の末永く記憶に残る結びつきが構築されたと思う。このような教授法

の思想や研修の目標は国境がなく、私自身の日々の授業や手腕の向上、また仕事上の自発的な探求、論理的思考、著述作業について理解させ、行動に前向きにさせてくれた。このことは私の今後の研究と仕事に非常に役立つ。

この研修機関、于先生は特別で素敵な文化体験を企画してくれた。日本の西に位置し、かつては交通の要衝として栄えたと真庭市という小さな山村の祭りに参加した。バスの中で、企画者はバスの中で日本の高齢化・少子化社



会の問題について話した。多くの小さな村はほとんどが老人の町で、若い人は少なく、あるいは大きな町へ働きに行っている。日本では祭りは大変重要な行事であり、地元の人々の助けが必要だ。大学生、それに小学生や中学生が手伝っていた。この経験を通じて、日本の伝統文化が人々の日常に溶け込んでおり、この国の文化に関する真の経験を与えてくれた。高齢化・少子化

問題は、一連の深刻な社会問題を併発するものであり、その問題解決にあたって日本政府はたくさんの慈善的な取り組みをしているとのことだ。このような文化経験は私を私を鼓舞し、深く学ばせてくれた。

次に企業の文化を経験した。この経営コースの終わりに、于先生と渡邊先生が日本のキリンの工場見学に連れて行ってくれた。キリンは日本の主要な酒造会社である。この会社は幅広いラインナップで新しいおいしさと飲みかたの



アルコール飲料を客に提供している。日本の企業を身近に感じる経験はこれが初めてだった。ワークショップ、製造工程、接近して試飲することは企業の文化を感じさせた。製造業に自然と人間性に焦点をあて、食と健康の新天地を開き、それと同時に百年に及ぶ製造のプロセスの集大成、顧客のニーズの正確な把握などの根本的要素をフルに生かした経営理念が私に日本企業の真髄を感じさせた。企業内であろうが、経営コースで学ぶ学生であろうが、「企業に求められる才能」を大学側は育てようとしていて、だから学生はその大学のキャリア形成計画に所属するのだとも感じた。

3つ目は岡山商科大学で最後となる文化体験で、先生と学生とがともに犬養木堂記念館を訪れ茶道の体験をした。これも私にとってはとても素晴らしい体験であった。茶道は日本文化の重要な一部である。茶道はもとは中国の文化であるが、日本の茶道は発展の経緯と文化的な含蓄により独自に成立したものである。その場では亭主は特別な器具を使い厳粛で複雑な手順を私たちに示し、その動きは威厳があり機敏で踊りのようなリズムと優美さがあり、次第に市民化されていった茶道の本質を感じさせた。茶道は今もなお大きな影響を日本人の暮ら





しや振舞い方に与えていると思う。

最後に、于先生が大学の先生たちとともに尾道へ日帰りドライブ旅行に連れて行ってくれた。他国の友達と親交を深め、地元の料理を味わったり美しい景色を堪能する良い機会となった。



#### 4. まとめ

3 か月間の研修が終わろうとしている。岡山県県民生活部国際課と岡山県国際交流協会、そして岡山商科大学に、このような貴重な学びの機会を与えてくれたことにとても感謝している。江西省と岡山の友好交流のメンバーとして、この研修は私の人生にたくさんのことを与えてくれた。私は江西省・岡山間の公使として、とくに教育に関して二国間の協力体制を促進していきたい。

中国と日本の人々の友情が永遠に続くことを心より願っている。